



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



2022年8月23日夕刊

記事を読んで、問いに答えましょう。

ふぞろい野菜 農家と家計救う

掛川など 詰め放題やセ ット販売

サイズや形が規格から外れ、スーパーやデパートでは売り物にならない野菜を、地元の直売所などで販売する取り組みが全国に広がっている。フードロス(食

品廃棄)の削減につながり、生産者の意欲向上につながると評判で、食品の値上げが相次ぐ中、消費者からも高い人気を得ている。

「最近は食品が高いため、ありがたい」。掛川市の農園「シュガーファーム」を訪れた60代女性が笑顔で話した。
シュガーファームは県道沿いに設置した無人の直売所で、規格外の野菜をセットにして100円で販売している。100円でもできるオクラの詰め放題が特に人気で、遠方から足を運ぶ人も少なくないという。

農園代表の佐藤京亮さん(31)によると、最近では天候不順などが原因で、収穫した野菜の約3割が規格外となる。「捨てられてしまうふぞろいの野菜でもおいしさは変わらない。食品ロスを減らしつつ新鮮野菜を多くの人に食べてもらいたい」

廃棄削減、生産意欲も向上

熊本県高森町のJA阿蘇青壮年部高森支部は4月、町内に規格外野菜を扱う直売所を設置した。異常気象の影響で出荷できない野菜が増えたことに加え、野菜を梱包(こんぼう)する段階で破格の100円という詰め放題も好評で、業務の京野弥子さん(41)は「価値がないと思っていた規格外野菜の人氣に、農家の人も元気づけられている」と語った。

農園「シュガーファーム」の直売所でオクラの詰め放題をする女性=3日、掛川市



経済ジャーナリストの荻原博子さんは、規格外の食品を活用すればフードロスを削減できると強調。「他の食材にお金をかけられるので、食卓を豊かにすることもできる」と話した。

「最近では800グラムほど入って破格の100円という詰め放題も好評で、業務の京野弥子さん(41)は「価値がないと思っていた規格外野菜の人氣に、農家の人も元気づけられている」と語った。

①見出しの「ふぞろい野菜」とは、どのようなものですか。

(**サイズや形が規格から外れ、スーパーやデパートでは売り物にならない野菜。**)

②「ふぞろい野菜」はどのように販売されていますか。その例を記事の中から探して2つ書きましょう。

- (**無人の販売所で規格外の野菜をセットにして(100円で)販売している。**)
- (**規格外野菜を扱う直売所を設置して販売している。**)
- (**(ホテルが)農家から買い取った規格外野菜を格安で販売している。**)
- (**800グラムほど入って破格の100円という詰め放題。** **など**)

③この取り組みには、どのような効果が期待できますか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) **フードロス(食品廃棄)の削減につながる効果が期待できる。(28字)**
食品の値上げが相次ぐ中、消費者から高い人気を得ている。(27字)
規格外野菜を捨てていた農家の人を元気づける効果が期待できる。(30字)
など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校/社会、技術・家庭、総合)